



414
A 505



高務局 現今ノ事務ヲ分鮮シテ一半ハ之ヲ文部省ニ屬シ
 一半ハ之ヲ内務省中ニ歸シテ新ニ一局ヲ創起シ目下定
 業職工上ノ事ハ之ヲ民間ニ配付スルヲ要ス
 當今ノ形勢ニ就テ考フレバ正金銀行購品委輸三条ノ事
 務ヲ創立スルニ當リ仮リニ大藏省中ニ於テ取扱フモノ
 トナスベシ
 農産上資金ヲ要スルノ緊切ナルモノアル時ハ勸農局之
 ヲ查覈シテ大藏省ニ照會ヲナスベシ
 商業上販賣適当ノ目的ヲ立テ願請スルアレバ高務局
 省中新ニ設ク之ヲ大藏省ニ照會スヘシ
 大藏省ハ此勸農高務兩局ノ保証ヲ信トシテ後金員ヲ支
 出スルモノナリ

大正十一年四月贈



今ヤ大藏省ハ管守スル所ノ國庫ヲ開テ以テ國産ノ資助ニ充テスンバアラサルノ秋也

然レ此出ス所ノ準度ハ輸出ニ千万円ト輸入ニ三千万円ノ運用カヲ隆起シテ自在ナラシムルヲ主義トシ心ヲ尽ス

ト尤モ急ルベシ先ツ戎器其他ノ用ニ充ツルヲ見合スベシ
鑛山ノ事ニ若干ノ金ヲ支出スルヨリハ寧口上州辺ノ生絲甲州ノ織物駿遠ノ茶西國ノ陶器其他尚多シ固有物ニ

レテ己ニ取贖ノ順序アルモノニ專ラ資力ヲ添フルヲ肝要トスベシ
大藏省管守スル國庫ヲ開キ充ルノカラテ尽シテ尚國益ヲ興スノ資力足ラサル時ハ諸官省ノ費用ヲ節限シテ之カ資助ニ充ツル可ナリ豈ニ冗費ノ省クベキモノナカラ

ニヤ

思フニ諸官省目今ノ形勢ニ因循シテ將來十餘年ノ後何等ノ事業ヲナシ得ルヤ信ヲ置キ難シ外國官省オノ秩序一齊駁々乎トシテ進ムノ畫策ニ比スヘケンヤ

之ヲ以テ之ヲ觀レハ獨ニ論及スル所ノ正金銀行購品委輸ノ三途ニ尽カスル眉急ノ事務ト言ハサルヘケンヤ
此事項ヲ行フハ大藏省ノ獨決スヘキニ非ス諸官省滿朝悉皆此心ヲ以テ心トナシ然レ後決行スヘキナリ

亞弗利加ノ羅馬ト戰フヤ敗績數回國勢窮縮シテ軍須給難ク如何ニ共スヘカラサルニ至リ此時ニ當リ民間ノ婦女苟モ尚死カヲ出シテ國難ヲ振ハンコトヲ企圖シ各自鬻髮ヲ截テ纜索ヲ製シ舟軍ヲ起シテ進戰奮闘遂ニ大敵ニ克ツコトヲ得タリ所謂死地ニ陥リ始テ生地ヲ得タ

大藏省

ルナリ精神一到何事カ成ラサランヤ今ノ日本ハ國幣ハ
空乏シ國勢ハ衰退シ戰伐^鼓聲ノ聲ナシト魚尾殆亜弗利
加ノ当時ニ慙ナキヲ得ンヤ内地奉國ノ人民ヲシテ世國
難ニ殉スルノ機心ヲ發動セシムルノ一點ヲ要スルナリ
内務卿回歴シテ到ル處有志者ニ向テ國產ヲ興スハ協同
戮力其基本ヲ確立スルニアリ而シテ大ニ貿易上ノ推カラ
我國ニ有スルヲ謀ルハ乃チ愛國ノ義務ナルヲ懇々説
明セラレタリ爾來彼處ニ若干万円此處ニ若干万円ノ資
カラ募リ筆紙絲蚕等諸般ノ事項各自ニ目的ヲ達セン
ヲ願出スルモノ漸々多キニ至レリ
然而ノ其願請ノ書出ツルニ當テ其掌管スル所ノ廳議ハ
紛々トシテ疑義百出シ遂ニ付箋ヲナシテ却下スルモノ
少ナカラサルヤニ聞及ヘリ己ニ民心ノ方向ヲ立テ協同

戮力若干万円ヲ團結シテ國益事業ヲ起サントスルニ至
レル者ヲハ之ヲ養成スルヲ謀ラスシテ空ノ故態ニ戻
リ姑息ニ安ンセシムルハ遺憾ノ至リナラスヤ
故ニ言フ三条ノ要旨ヲ奉テ至急ニ決行ヤスンハアハルヘ
カラスト

